（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

事業名	防災・減災意識向上事業
事業主体 （連絡先）	北熊井区 塩尻市大字片丘 8783 番地 1
事業区分	（４）安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	７，６５３，０１６円（うち支援金：４，２５８，０００円）

事 業 内 容

本地区内は地区のほぼ全域が土砂災害警戒区域に指定されており、指定避難場所・緊急避難場所全てが土砂災害警戒区域に含まれているため安全な避難場所が必要である。

また、コロナ渦によるイベント中止等により地域コミュニティが脆弱化し、地域住民の連携が希薄化しつつあるため、共助意識の醸成や有事に備えて防災・減災意識の向上が必要となる。

そのため、地域住民の協働作業により整備することで、地域コミュニティの強化を図り、災害時の助け合いや円滑な支援活動が行えるコミュニティづくりを推進するとともに、整備した避難場所で実践的な防災訓練を実施。

・避難場所の整備：６月～１０月　延べ 155 人参加
・実践的防災訓練の実施：１１月４日　延べ 233 人参加

【防災訓練状況】

【目標・ねらい】

①協働作業による地域住民間の繋がり強化（目標参加者延べ 150 人）
②区民の防災・減災意識の向上（目標参加者 130 人）

事 業 効 果

①地域住民による整備作業を 3 回実施し、延べ 155 人もの参加者があり、協働活動により地域住民間の繋がりを醸成する機会にも繋がった。
また、自ら整備することで施設に愛着を持つとともに避難場所として周知できた。
②今回整備した避難場所を利用し、より実践的な防災訓練を実施することができ、過去平均参加人数（40 人）を大きく上回る 233 人もの参加者があった。
防災訓練時に参加者へ訓練等への理解度アンケートを実施し、理解度 100%を達成することができた。

※自己評価【　A　】

【理由】
・整備作業参加人数は目標値の 150 人を達成。
・防災訓練への参加人数が過去平均より約 480%増。
・訓練後の理解度 100%を達成。

今後の取り組み

整備した避難場所は、地域住民に名称アンケートを実施し「北熊井ふれあい公園」とした。

普段は地域住民の憩いの場、交流の場として利用し、地域住民間の繋がりの醸成を図っていきたい。

今後も年１回の実践的な防災訓練を継続して実施していき、地域住民の防災・減災意識の向上を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある